

三重県産米とユニバーサルデザインに関するアンケート

実施概要

担当部局	実施期間	対象者数	回答者数	回答率
地域福祉課	2018年01月12日から 2018年01月29日まで	1161	775	66%

今回は、農林水産部農産園芸課、健康福祉部地域福祉課からのアンケートです。

農産園芸課では、県の重要な農産物であるお米の生産振興や消費拡大に関する事業を進めています。皆さんの県産米に対する愛着度やニーズ等についてアンケートを実施し、今後の県産米の生産振興や消費拡大につなげていきたいと考えています。

また、地域福祉課では、障がい者、高齢者、妊産婦、外国人等さまざまな人が、自由に移動し社会参加できる「ユニバーサルデザインのまちづくり」を推進しています。ユニバーサルデザインに関する皆さんの意識を調査し、今後のユニバーサルデザインの普及や施設整備等の取組の推進に役立てるため、アンケートを実施します。ご協力をお願いします。

■ Q1 お米を消費する世帯の人数について

最初に、農産園芸課からお聞きします。
あなたの世帯の人数は何人ですか。

合計	775	
1人	41	5.3%
2人	217	28.0%
3人	210	27.1%
4人	187	24.1%
5人	69	8.9%
6人以上	51	6.6%

■ Q2 お米の消費量について

あなたの世帯では、1か月間にどのくらいのお米を食べますか。

合計	775	
0kg～5kg未満	175	22.6%
5kg～10kg未満	277	35.7%
10kg～15kg未満	165	21.3%
15kg～20kg未満	77	9.9%
20kg～25kg未満	41	5.3%
25kg以上	40	5.2%

■ Q3 お米の入手方法について

あなたの世帯では、主にどのような方法でお米を購入（入手）していますか。あてはまるものを1つ選んでく

ださい。

合計	775	
スーパーや生協等の量販店で購入	260	33.5%
農協やAコープ等で購入	27	3.5%
米穀専門店で購入	11	1.4%
インターネット・通販等で購入	28	3.6%
農家（知り合いや親族が農家の場合を含む）から直接購入	230	29.7%
知り合い（親族を含む）からもらう	141	18.2%
自分で生産している（→Q5へ）	65	8.4%
その他	13	1.7%

■ Q4 お米の選び方について

Q3で「自分で生産している」以外を選択された方にお聞きます。お米を購入（入手）される際に、基準にしているものは何ですか。主なものを3つまで選んでください。

合計	710	
価格	335	47.2%
品種や銘柄	302	42.5%
産地	246	34.6%
生産者	82	11.5%
安全性	187	26.3%
味	172	24.2%
鮮度（精米日）	72	10.1%
無洗米	24	3.4%
パッケージ	4	0.6%
知り合い（親族を含む）が作っている	188	26.5%
特に基準はない	29	4.1%
その他	10	1.4%

■ Q5 お米の産地について

あなたの世帯で購入（入手）するお米は三重県産米ですか。

※だいたい：7割～9割、ほぼ半々：4割～6割、たまに：1割～3割

合計	775	
常に三重県産米である	403	52.0%
だいたい三重県産米である	164	21.2%

三重県産米と他県産米とがほぼ半々である	66	8.5%
たまに三重県産米である	70	9.0%
常に他県産地米である	72	9.3%

■ Q6 お米以外で良く食べる主食について

あなたが、お米以外でよく食べる主食はなんですか。主なものを3つまで選んでください。
※主食とは、お米（米飯）以外に食べる、主に炭水化物の食事としてください。

合計	775	
うどん	476	61.4%
そば	95	12.3%
パスタ（マカロニ、スパゲティなど）	261	33.7%
ラーメン	363	46.8%
パン	652	84.1%
お餅	57	7.4%
その他	5	0.6%

■ Q7 お米以外の主食を食べる回数について

あなたは、ふだん食事をする場合、お米以外の主食を食べることが週にどれぐらいありますか。

合計	775	
週に1回未満	117	15.1%
週に1回	120	15.5%
週に2～3回	255	32.9%
週に4～7回	208	26.8%
週に8回以上	75	9.7%

■ Q9 「ユニバーサルデザイン」の意味及び関心について

ここからは、地域福祉課からお聞きます。
あなたは、「ユニバーサルデザイン」の意味をご存じですか。また、関心はありますか。

合計	775	
意味を知っており、関心もある	300	38.7%
意味は知っているが、特に関心はない	252	32.5%
意味は知らないが、関心はある	128	16.5%
意味も知らないし、関心もない	95	12.3%

■ Q10 施設整備に関するユニバーサルデザインについて

あなたは、官公庁・病院・スーパー・駅舎・歩道など多くの人が利用する施設や電車、バスなどの乗り物について、だれもが使いやすくなってきていると感じますか。

合計	775	
そう感じる	64	8.3%
どちらかといえばそう感じる	425	54.8%
どちらかといえばそう感じない	230	29.7%
まったくそう感じない	56	7.2%

■ Q11 製品及び情報提供に関するユニバーサルデザインについて

あなたは、日常生活で使う製品、社会生活に必要な広報紙やチラシなど情報提供が、障がい者、高齢者、妊産婦、外国人等さまざまな人の立場に立って配慮されてきていると感じますか。

合計	775	
そう感じる	35	4.5%
どちらかといえばそう感じる	353	45.5%
どちらかといえばそう感じない	330	42.6%
まったくそう感じない	57	7.4%

■ Q12 サービスの提供に関するユニバーサルデザインについて

あなたは、国、県、市町等の行政サービスや商店、商業施設、宿泊施設等の民間企業等の顧客サービスが、障がい者、高齢者、妊産婦、外国人等さまざまな人の立場に立って提供されていると感じますか。

※この設問での「サービス」は、案内表示や窓口サービス（説明）のわかりやすさ、利用手続きの簡素化、その他利用者の要望に応じたサービスをイメージしてください。

合計	775	
そう感じる	32	4.1%
どちらかといえばそう感じる	380	49.0%
どちらかといえばそう感じない	312	40.3%
まったくそう感じない	51	6.6%

■ Q13 「三重おもいやり駐車場利用証制度」の認知度について

県では、「車いす使用者用駐車区画」（車いすのマークを表示した区画）の不適正な利用を防止し、障がい者や妊産婦、けが人などで、歩行が困難な方の外出を支援するため、公共施設や商業施設などに「おもいやり駐車場」の設置を進めるとともに、その利用証を交付する「三重おもいやり駐車場利用証制度」を実施しています。

あなたは、「三重おもいやり駐車場利用証制度」をご存じですか。

[三重おもいやり駐車場利用証制度のHPアドレス]
<http://www.pref.mie.lg.jp/UD/HP/73426012526.htm>

合計	775	
制度の内容を知っている	365	47.1%
マークやポスターを店舗等で見たことがあるが、内容は知らない（→Q15へ）	228	29.4%

知らない (→Q15へ)	182	23.5%
--------------	-----	-------

■ Q14 「三重おもいやり駐車場利用証制度」の今後のあり方について

Q13で「制度の内容を知っている」とお答えいただいた方にお聞きます。
あなたは、「三重おもいやり駐車場利用証制度」の今後のあり方をどのように思いますか。

合計	365	
制度を継続するべきである	312	85.5%
制度はやめるべきである	14	3.8%
どちらともいえない	39	10.7%

■ Q15 「適合証プレート」の認知度について

県では、公共的施設の整備に関し、その施設が、障がい者、高齢者等が安全かつ快適に利用するために必要な基準に適合している場合には、整備基準適合証（「適合証プレート」）を交付しています。
あなたは、「適合証プレート」を見たことがあり、その意味をご存じですか。

[適合証プレートのHPアドレス]
<http://www.pref.mie.lg.jp/UD/HP/20871012597.htm>

合計	775	
見たことがあり、示す意味を知っている	186	24.0%
見たことはあるが、示す意味は知らない	98	12.6%
見たことはないが、示す意味は知っている	93	12.0%
見たことがなく、知らない	398	51.4%

■ Q16 「マタニティマーク」の認知度について

「マタニティマーク」は、妊産婦が交通機関等を利用する際に身につけ、周囲の人が妊産婦への配慮を示しやすくするためのものです。また、公共交通機関、職場、飲食店等が、呼びかけ文を添えてポスターなどとして掲示し、妊産婦にやさしい環境づくりを推進するものです。
あなたは、「マタニティマーク」を見たことがあり、その意味をご存じですか。

[参考：マタニティマークに関する厚生労働省のHPアドレス]
http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo_kosodate/boshihoken/maternity_mark.html

合計	775	
見たことがあり、示す意味を知っている	450	58.1%
見たことはあるが、示す意味は知らない	45	5.8%
見たことはないが、示す意味は知っている	162	20.9%
見たことがなく、知らない	118	15.2%

■ Q17 「ベビーカーマーク」の認知度について

「ベビーカーマーク」は公共交通機関や商業施設などにおいて、ベビーカー使用者が安心して利用できる場所や設備を明示したり、ベビーカーの使用を禁止する場所や設備を明示したりするためのものです。
あなたは、「ベビーカーマーク」を見たことがあり、その意味をご存じですか。

[参考 : ベビーカーマークに関する国土交通省のHPアドレス]
http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo09_hh_000083.html

合計	775	
見たことがあり、示す意味を知っている	211	27.2%
見たことはあるが、示す意味は知らない	47	6.1%
見たことはないが、示す意味は知っている	215	27.7%
見たことがなく、知らない	302	39.0%

■ Q18 「ヘルプマーク」の認知度について

「ヘルプマーク」は義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、または妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう、作成したマークです。

あなたは、「ヘルプマーク」を見たことがあり、その意味をご存じですか。

[参考 : ヘルプマークに関する東京都福祉保健局のHPアドレス]
https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/shougai/shougai_shisaku/helpmark.html

合計	775	
見たことがあり、示す意味を知っている	104	13.4%
見たことはあるが、示す意味は知らない	44	5.7%
見たことはないが、示す意味は知っている	209	27.0%
見たことがなく、知らない	418	53.9%

各ページの記載記事、写真の無断転載を禁じます。
All Rights Reserved, Copyright(C)2006.Mie Prefecture